

＜熊本県和水町＞小中校統廃合住民投票 耐震改修案が上回る

毎日新聞 2016年10月3日 地方版

和水町菊水地区の小中学校統廃合事業を巡る2度目の住民投票が2日投開票され、既存校舎の耐震改修案が新築案を上回った。投票総数5318票で、改修案2905票、新築案2322票、無効91票だった。投票率は57・79%。規定の5割に届かず開票しなかった前回2013年の投票率28・93%を上回った。法的拘束力はないが、福原秀治町長や町議会は「結果を尊重する」としており、改修案が動き出す。

旧菊水町地区の4小学校を菊水中央小に統合し、近くの菊水中とともに校舎を耐震改修するか、同町総合グラウンドとその周辺に小中併設型の新校舎を新築するかを問うた。改修案の総事業費は21億1000万円（昨年3月時点）で工期は11カ月。新築案は39億6000万円（13年11月時点）、工期は13カ月としていた。

統廃合を巡っては、14年3月の町長選の争点となり、改修を訴えた福原町長が当選したが、新築を支持する町議会の多数派との対立が表面化。昨年4月の開校予定は遅れ、打開策として町長派の町議が今回の住民投票条例案を提出していた。

同町では13年11月にも前町長が推した併設型の事業費が当初の36億円から39億6000万円に増額することの是非を問う住民投票があったが、投票率が3割に達せず開票されていなかった。今回は投票率にかかわらず開票した。

当日の投票資格者数は9203人（男4260人、女4943人）だった。

2度の投票に住民困惑

2度目の住民投票は「税金の無駄遣い」と困惑の声も多い。町民は9月、地方自治法に基づいて有権者数の50分の1以上（186人）の約3倍に当たる627人の署名を集めて直接請求をしたが、町議会が退けていた。

投票を終えた同町江田の造園業の男性（75）は「こんなに長い時間をかけて決められないのが不思議。耐震改修を訴えた今の町長になった時点で、住民の意思ははっきりしたのに、また住民投票を行うのは税金の無駄。子供のために早く工事を進めてほしいが、投票結果を無視して、また町長と町議会の対立が続くのではないかと不安だ」と話した。

別の無職男性（76）は、改修案と新築案の比較のために町が全戸配布した冊子について「数年前に算出した事業費なので適用した消費税率もばらばらで、判断を町民に丸投げし、資料の根拠もあいまい。熊本地震後に新築案に意見を変えた人も多い」と不満をみせていた。 【柿崎誠】

和水町住民投票結果

改修 2905票 新築 2322票 (選管最終発表)